

平成24年度（下半期）河川レンジャー活動報告

平成25年3月

福島管内河川レンジャー

辻川 松子（1期生）

池宮 實（4期生）

西岡 和昭（6期生）

毛馬管内河川レンジャー

三輪 栄子（3期生）

崎谷 久義（4期生）

石山 郁慧（5期生）

新里 嘉孝（6期生）

目次

○辻川河川レンジャー活動報告（下半期）	1
1. 平成24年度 活動のテーマと目的	1
2. 淀川フェスティバルプレイベント	・平成24年10月20日(土) 2
3. 第11回よどがわ河川敷フェスティバル	・平成24年10月21日(日) 4
4. 地域連携水質調査(下半期4回)	・平成24年10月21日(日) 7
5. わがまち「防災スクール」	・平成24年11月1日(木) 10
6. 十三中学校防災スクール体験学習	・平成24年11月5日(月) 12
7. わがまち「防災スクール」活動	・平成24年11月9日(金) 14
8. 十三中学校防災スクールまとめ	・平成24年11月12日(月) 16
○池宮河川レンジャー活動報告（下半期）	18
9. 平成24年度 活動のテーマと目的	18
10. 淀川の魚展示	・平成24年10月21日(日) 19
11. 片江小学校イタセンパラ講義	・平成24年11月6日(火) 21
12. 淀川探訪ウォーキング	・平成24年11月27日(火) 23
○西岡河川レンジャー活動報告（下半期）	26
13. 平成24年度 活動のテーマと目的	26
14. 淀川河川敷フェスティバル	・平成24年10月21日(日) 27
15. 野中小学校切り絵塾出前事業	・平成24年11月10日(土) 29
16. 治水人形劇と河川啓発コント	・平成25年1月12日(土) 30
○三輪河川レンジャー活動報告（下半期）	32
17. 平成24年度 活動のテーマと目的	32
18. 冬鳥観察会	・平成25年1月25日(金) 33
○崎谷河川レンジャー活動報告（下半期）	35
19. 平成24年度 活動のテーマと目的	35
20. 森林(もり)の市ブース出展	・平成24年10月7日(日) 36
21. 平成ワンド観察	・平成24年11月1日(木)・4日(日) 38
○石山河川レンジャー活動報告（下半期）	40
22. 平成24年度 活動のテーマと目的	40
23. 指標生物講座	・平成24年11月3日(土) 41
○新里河川レンジャー 活動報告（下半期）	43
24. 平成24年度 活動のテーマと目的	43
25. 地引網で生きもの調査	・平成24年10月27日(土) 44
26. 野鳥観察と水辺ウォーク	・平成25年2月23日(土) 46
○毛馬管内河川レンジャー連携活動報告	48
27. 大阪市北区 区民カーニバル	・平成24年10月21日(日) 48
○河川レンジャーおよびアドバイザー連携活動報告	50
28. 京都環境フェスティバル2012	・平成24年12月8日(土)~9日(日) 50

○辻川河川レンジャー活動報告（下半期）

1. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

1.1 活動テーマと活動分野

福島出張所管内を活動エリアとする辻川河川レンジャーは以下の活動テーマにもと、7つの活動を計画しました。

活動テーマ

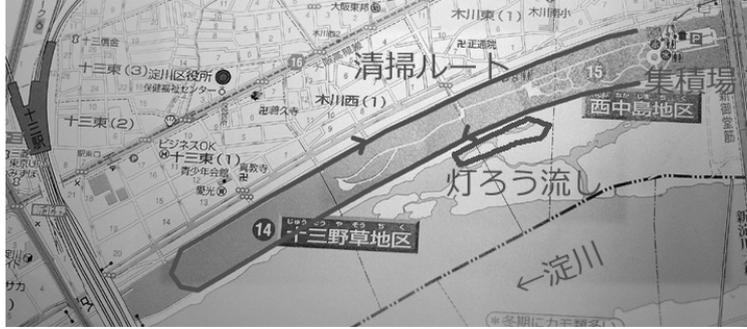
川と人 まちと川 人と人を繋げ 豊かな自然環境を守り
災害に強いまちづくりを目指して次世代の育成に努めます！！

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
防災に強いまちづくりの推進と次世代の育成を図る活動	*わがまち「防災スクール」	淀川区内の中学校を対象として水防工法の体験学習や災害に対する危機意識の啓発と、水防工法の知識や技術等の習得に繋がります。次の時代を担う「防災リーダー」の育成を目的とし、更に、世代間交流を図る活動に繋がります。
防災と環境保全の推進を図る活動	*第11回よどがわ河川敷フェスティバル ＝川に寄り添い活きる淀川区を目指して＝	淀川フォーラム実行委員会主催の第11回よどがわ河川敷フェスティバルで河川レンジャーコーナーを設け活動の啓発に努めます。
河川の環境と適正な利用の推進を図る活動	*良い川づくりを目指してワークショップの開催 ＝地域連携事業＝	区役所をはじめとした様々な団体等が実施する学習会に協働し高校生や大学生の次世代育成に努めます。川と人、人と人を繋げる自然環境・防災&災害に関わる事業運営のサポーターに努める。
河川の環境保全を図る活動	*リバーウォッチャー「淀川探検隊」 *清掃活動&ヨシ刈り *その他の活動 ＝NPOとの協働事業＝	淀川区内の小学生を対象に自然環境や河川利用に係わる活動を通じて自分が住むまちに豊かな自然が身近にあることを伝え、こどもたちの郷土愛を育むことを目的とします
啓発活動	*河川レンジャー活動に関するニュース等の情報発信	川と人、人と人を結ぶコーディネーターとして 河川レンジャーの活動案内や結果報告をはじめとした情報を継続的に発信し、地域住民から意見や情報を聴取する

2. 淀川フェスティバルプレイベント

・平成 24 年 10 月 20 日(土)

活動名	淀川フェスティバルプレイベント（清掃活動と灯籠流し）		
活動分野	環境保全		
氏名	辻川松子（福島出張所管内河川レンジャー）		
活動日時	平成 24 年 10 月 20 日(土) 16:00～19:00		
実施場所	淀川左岸十三～西中島高水敷 		
参加人数	参加総数	50 名	
	一般参加者	22 名	大人 16 名、子ども 6 名
	河川レンジャー	2 名	辻川河川レンジャー、西岡河川レンジャー
	協力スタッフ	13 名	淀川区役所 6 名、わが街防災スクール 7 名
	その他	12 名	フォーラム実行委員会 5 名、大阪市大学生(チョボラ・クラブ) 7 名
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	14:00	スタッフ集合（西中島公園噴水前）	
	15:00	会場準備	
	15:30	参加者受付	
	16:00	開始、河川レンジャー活動の主旨	
	16:05	河川敷清掃開始	
	16:40	清掃終了・後片付け	
	16:50	灯籠流し会場受付	
	17:00	灯籠流し開始	
	17:30	琴演奏開始	
	19:00	灯籠回収、終了	
	19:30	後片付け、解散	
配付資料	特になし		
関係機関からの支援内容	淀川区役所：広報活動、机・いす・テント・LED の提供 フォーラム実行委員会松本氏：琴の演奏		
河川レンジャーの活動内容	準備	関係諸機関との調整 企画立案：実施日程の調整、協力者への案内、スタッフの配置と進行 必要物品の整理と調達 場所の設営と整備<下見も含む> ゴミ処理場所の調査確認と関係諸機関に連絡	
	当日	安全管理 設営と撤去、参加者へ事業趣旨を伝え環境保全に繋げる	
	事後	ゴミ保管場所の連絡 事業終了後の整理と確認	
参加者からの意見	清掃活動から ・以外に綺麗と思う反面、どうしてこんなところにゴミが多いのと感じた。 ・ゴミをみて「ゴミのポイすて」はやめようと思った。(小学生) ・干潟学習で来たときはゴミがこんなに多いとはわからなかったが清掃活動に参加して「ヤバイ」と思った。(小学生)		

- ・自分たちの世代に両面をもつ淀川について伝えたい。(大学生) 灯りのファンタジーから
- ・河川敷でこのような楽しみ方があることに感動。
- ・むしの音がこんなに美しく聞こえることにビックリしました。
- ・自然の素晴らしさに感動しました。
- ・むしの声と琴の音のコラボレーションが素晴らしい。

(今後の課題)

夕暮れの(夕涼み)文化再現を基に清掃活動と灯りの融合を試みました。その中で、スタッフが如何に危機意識を持ち事業を終結させるかが課題でした。

清掃活動で良かったこと

- ・たそがれの河川敷での清掃は心を穏やかにまた豊かな気持ちで実施することが出来ました。

清掃活動での課題

- ・堤内地(堤防)斜面のゴミが思いのほか多く人、早く清掃が終わった人との差があり今後は、同時に終了出来る人員配置が必要

灯りのファンタジーで良かったこと

- ・野犬水路を活用して実現できた事業は、秋の虫の声が奏でる自然と和楽器の響きは素晴らしいものであった。さらに対岸に輝く大都市ならではの灯りは参加したものの心を魅了させました。

灯りのファンタジーでの課題

- ・灯りのボックスを川に流すことで「一つたりとも本流に流さない」をテーマに事業の実施をおこないましたが本流近くまで流れ回収に苦心しましたが流すことなく無事終了させました。その意味から想定した場所で必ず撤収することが今後の課題と考えます。
- ・河川敷の事業に立ち会った西岡河川レンジャーは、野犬水路中間点で不法投棄等々の環境にある場所において野犬に吠えられ、身動きが出来ない状況にありました。後方からの指示で無事難を逃れましたが、今後の課題として次の事業に繋がりたいと考えます。



河川レンジャーによる清掃前の注意事項



参加者による清掃(ゴミ拾い)



灯籠流し会場受付



灯籠の幻想的な流れ

3. 第 11 回よどがわ河川敷フェスティバル

・平成 24 年 10 月 21 日(日)

活動名	第 11 回よどがわ河川敷フェスティバル ＝川に寄り添い活きる淀川区を目指して＝		
活動分野	防災		
氏名	辻川 松子（福島出張所管内河川レンジャー）		
活動日時	平成 24 年 10 月 21 日(日) 11:00～15:00		
実施場所	 		
参加人数	参加総数	511 名	<全体来場者 7000 人>
	参加者	481 名	大人 83 名、子ども 398 名(中学生も含む) アンケート回収 230 枚下記内訳 無回答・・2 70 代・・4 60 代・・4 50 代・・2 40 代・・28 30 代・・50 20 代・・6 10 代・・41 10 未・・93
	スタッフ	21 名	大学生（大阪市立大学）：3 名 地元中学生（宮原中学校）：12 名 淀川区地域防災リーダー：6 名
	淀川河川事務所	8 名	職員：2 名 水没ドア・水中歩行等の設置業者：6 名
	河川レンジャー運営事務局	1 名	

スケジュール	11:00 15:00	開始 河川レンジャーブースでの水防災の啓発 ・水中歩行体験 ・水没ドア開閉体験 ・水害防災マップ 終了
配付資料		なし
関係機関からの支援内容		河川事務所 施設の提供と人員の配置、表示テープ<赤・黄>の搬入搬出 現地視察立会、物品<のぼり> 新高連合 防災リーダーの出動と協力
河川レンジャーの活動内容	準備	企画立案、協力団体への呼びかけと調整 設置場所の現地下見、設営時の立会
	当日	設営運営者及び協力者と打ち合わせ レクチャー 事前、中間、終了点検
	事後	撤去時の立会と点検、撤去後の地ならし
参加者からの意見		アンケート回収 230 枚 無回答・・2 70代・・4 60代・・4 50代・・2 40代・・28 30代・・50 20代・・6 10代・・41 10未・・93 (自由回答)
		津波や洪水などの恐ろしさを知った
		川や水の流れが分かった。
		水圧がすごかった。
		災害がなくなっほしい。
		キレイな河川であって欲しいと思います。
		ゴミをもちかえるようにしていますが川がきれいになって欲しいと願っています。
		とても好感のもてる企画だと思う。
		港区からきました。とても楽しく河川敷Fに参加させて頂いています。港区でもして欲しいくらいです。
		淀川をもっと美しくしたいです。
		川を大事にしていけばいいと思う。
		津波の高さが実感できた。
		川から住んでいる場所までの距離や位置が分かった。
		良い体験が出来た。
		楽しかった。
	良かった。	
	<アンケートから> (従事した防災リーダーの声) *子どもたちが遊びながら学ぶ貴重な体験ができる施設に従事して改めて防災学習の必要性を感じました。 *従事者は地域を持ち回りして出来ると良いのではないか。 *地域のリーダーが体験することが大事ではないか。 *中学生ボランティアの元気と行動力に頼もしさを感じました。 (中学生の声) *中学校で一度体験しているので、体験者に対しスムーズに説明が出来た。 *体験で水の怖さを感じました。 (大学生の声) *模擬体験で災害の怖さを感じました。 *体験するかしないでは大きな差が出て、もしかの災害時には体験の経験を活かせるのではないか。 *多くの人に体験しておくことが大事ではないか。	



水中歩行体験



水没ドア開閉体験



水害防災マップで自宅の浸水深を知る



地元中学生による体験コーナーの受付

4. 地域連携水質調査(下半期 4 回)

・平成 24 年 10 月 21 日(日)

活動名	水質調査		
活動分野	環境保全		
氏名	辻川松子 (福島管内河川レンジャー)		
活動日時	平成 24 年 10 月 21 日(日)15:40~16:10 平成 24 年 11 月 18 日(日)9:30~11:45 平成 24 年 12 月 16 日(日)9:00~10:45 平成 25 年 1 月 20 日(日)10:00~12:15		
実施場所	(場所) 淀川左岸十三野草公園地先 (十三干潟下流付近)		
			
参加人数		34 名	
10 月 21 日	参加総数	7 名	
	参加者	6 名	大人 1 名岡崎氏(未来わがまちビジョン推進委員会)、中学生 5 名
	講師	1 名	自然環境保全協会理事野田氏
11 月 18 日	参加総数	2 名	
	スタッフ	1 名	岡崎氏 (未来わがまちビジョン推進委員会)
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
12 月 16 日	参加総数	3 名	
	参加者	2 名	大人 2 名
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
1 月 20 日	参加総数	5 名	
	参加者	4 名	大人 4 名
	河川レンジャー	1 名	辻川河川レンジャー
スケジュール	15:40 16:10	(10 月 21 日の例) パックテストによる水質試験の開始 水質試験終了 (後片付け他)	
配付資料	なし		
関係機関からの支援内容	河川事務所・・・試薬の提供		
河川レンジャーの活動内容	準備	参加者、協力者に連絡 記録用紙の作成	

		<p>水質調査の実施 調査結果の評価 河川敷の実態把握と課題の検討 活動報告のための写真撮影 (水質調査結果)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">十三干潟</th> </tr> <tr> <th>測定項目</th> <th>アンモニウム</th> <th>pH</th> <th>COD</th> <th>DO</th> </tr> <tr> <th>測定時間</th> <td>5分</td> <td>20秒</td> <td>5分</td> <td>2分</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10月21日</td> <td>0.3mg/l</td> <td>8.0</td> <td>8.0mg/l</td> <td>7mg/l以上</td> </tr> <tr> <td>11月18日</td> <td>0.2mg/l</td> <td>7.0</td> <td>7.0mg/l</td> <td>9mg/l以上</td> </tr> <tr> <td>12月16日</td> <td>0.2mg/l</td> <td>7.5</td> <td>5.0mg/l</td> <td>5mg/l以上</td> </tr> <tr> <td>1月20日</td> <td>0.2mg/l</td> <td>7.0</td> <td>5.0mg/l</td> <td>9mg/l以上</td> </tr> </tbody> </table>	十三干潟					測定項目	アンモニウム	pH	COD	DO	測定時間	5分	20秒	5分	2分	10月21日	0.3mg/l	8.0	8.0mg/l	7mg/l以上	11月18日	0.2mg/l	7.0	7.0mg/l	9mg/l以上	12月16日	0.2mg/l	7.5	5.0mg/l	5mg/l以上	1月20日	0.2mg/l	7.0	5.0mg/l	9mg/l以上
十三干潟																																					
測定項目	アンモニウム	pH	COD	DO																																	
測定時間	5分	20秒	5分	2分																																	
10月21日	0.3mg/l	8.0	8.0mg/l	7mg/l以上																																	
11月18日	0.2mg/l	7.0	7.0mg/l	9mg/l以上																																	
12月16日	0.2mg/l	7.5	5.0mg/l	5mg/l以上																																	
1月20日	0.2mg/l	7.0	5.0mg/l	9mg/l以上																																	
	当日																																				
	事後	<p>調査票の作成 報告書の作成</p>																																			
参加者からの意見		<p>(平成24年10月21日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5人の十三中学校1年2年生5人が参加。先生の話をしっかり聞きながら学校での授業の振り返りを行いました。 ・Eボートでヨシ原付近を通る中では水の匂いが臭く感じた。 ・はじめて水質調査に参加。貴重な体験が出来た。 ・十三干潟では17・18日に降った雨で調査結果では雨水と出ているが、淀川の水がこんなに綺麗と思わなかった。 ・水質は昨今になく美しく透き通っている。〈目視水質〉 <p>(平成24年11月18日)</p> <p>〈水質調査から〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前日に降った雨の影響で水の色は茶褐色に近く、透明度が悪い状況である。一方でCOD並びにDOは優れて良い状況にある。 <p>〈河川敷把握〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを拾う中で人糞やゲロが点在する。 ・当然と言えば当然ですがマナーの悪さが気にかかる。 ・野犬水路の中ほどに不法投棄等が少しずつ拡大して行っているように感じる。 <p>(今後の課題)</p> <p>河川敷の秋は都会のオアシスとして多くの若者に利用されている一方でマナーの悪さは今日の課題であることは言うまでもありませんが、この時期の絶景を次世代に残すことを含めマナー向上に向けた取り組みを考えることが大事で課題といたします。</p> <p>(取り組みとして)</p> <p>河川敷や川面の清掃活動を行っていることやゴミ〇を目指す活動の必要性和重要性をアピールし良い川に向けた活動を行います。</p> <p>(平成24年12月16日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木々が枯れている状況で見晴らしが若干良いため不法投棄や不法占住が目立つ。 ・毎年、輝くような朱色で花を咲かせる「まゆみ」が今までにない小粒で色悪い花となって咲いている。 ・十三干潟付近は冬鳥が若干少なく感じる。一方、野犬水路から本流に流れる川筋に集まる傾向がみられる。 ・目視では透明度も高く水質は良好。 <p>(平成25年1月20日)</p> <p>〈水質調査&河川敷状況把握から〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質の透明度も高く綺麗な淀川を感じさせられました。一方ジェット船の影響で川とは思えないほど波が高く不自然に感じる。 ・ヨシ原のヨシ刈りが少しずつ進んでいる状況。 ・野犬水路から下流側に入るヨシ原は思いのほかごみが少なく美しいヨシ原で自然の素晴らしさを体感。 ・西中島地区ヨシ原は「カヤネズミ」・「オオヨシキリ」の巣が多く見られ 																																			

「自然の宝庫淀川」を実感。

- ・自然の素晴らしさを一人でも多くの子どもたちに知って欲しい。
- ・「オオヨシキリ」の巣を学習用に持ち帰る。
- ・足を運ぶことがなかった下流側のヨシ原は思いのほか壮大で新たな発見を感じた。
- ・環境の保全について改めて考えさせられる機会に遭遇。
- ・古枯れのヨシ原の状況を体感してもらう事でゴミゼロを目指すきっかけになるのではないか。
- ・新春凧揚げ大会執行部の声、凧揚げを通して自然の大切さを感じてくれる大会になればと願っている。



(10月20日)野田講師から水質について説明を受ける



(11月18日)水質試験試料の比較風景



(12月16日)繁茂する高水敷の巡視移動風景



(1月20日)試験結果を記録

5. わがまち「防災スクール」

・平成 24 年 11 月 1 日(木)

活動名	わがまち「防災スクール」		
活動分野	防災		
氏名	辻川 松子 (福島出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成 24 年 11 月 1 日(木)13:40~14:45		
実施場所	大阪市立十三中学校 大阪市淀川区十三東 5 丁目 1-27		
参加人数	参加総数	170 名	
	参加者	165 名	十三中学校教師 5 名、1 年生 160 名
	大阪市職員	1 名	淀川消防署長草部氏
	淀川区職員	3 名	市民協働課西谷氏、中山氏、北野氏
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	13:40	設営準備・生徒集合開始	
	13:50	自己紹介及び活動の趣旨説明	
	14:00	防災について	
	14:20	防災と防護について	
	14:25	淀川区全域の地形と淀川流域の説明・災害について (辻川河川レンジャー)	
	14:45	終了	
配付資料	なし		
関係機関からの支援内容	日程の調整・学校施設利用の調整 大阪市立十三中学校教頭先生・教務主任 淀川消防署 草部署長講師の快諾 淀川区役所市民協働課防災担当 職員の出動と講師の快諾		
河川レンジャーの活動内容	準備	企画書の作成と提出 学校と日程を含む実施内容検討と調整 講師日程の調整・学校施設利用の調整 パワーポイントを含む資料の作成	
	当日	レンジャーから活動の趣旨説明 ・防災の考え方 (川と人を繋げるには、人命救助について) 防災について (淀川消防署長草部氏) ・救命処置・水防 (火災・水害の恐ろしさ) ・土のうの必要性 ・地震 (地形と地盤の関係、津波による被害) ・火災 (広域避難、火災の大きな被害 (輻射熱とは)) 防災と防護について (市民協働課西谷氏) ・災害による護身教導 レンジャーから淀川区全域の地形と淀川流域の説明・災害について ・地震による影響 (震度による影響と予測、重油火災等) ・東北大震災・和歌山台風 12 号による被害 (スライド) ・流れ橋 (木津川) の橋下決壊と被害 ・淀川下流域に施設の働き (毛馬大堰) ・災害時の学校の主な役割 (広域・一時・収容避難場所) ・学生と地域防災力について (自助・共助防災に対する考え方)	
	事後	意見のまとめ	
参加者からの意見	(代表的な意見<原文のまま>) ・普段の生活で津波・地震など気にしたことなかったけど、防災スクールで話を聞いてすごくこわいんだなあと思いました。 ・学んだことを活かしていきたい。 ・写真とかを見ておどろいた。 ・どんなことをやるのかわからずただ話を聞くだけと思っていたが意外に勉強になることや、もしもの時私たちの力が必要だということがよくわかった。 ・最初は正直言ってダルかった。話は長いし、疲れるしで・・・でも		

話してくれる人は一生懸命で・・・話しの内容も大事なことをやった。
地震ってこわいなあと思った。
(今後の課題)
生徒により近い目線で何を伝えて行くことが大事かを考え更にマンネリ
化にならないよう自己研鑽していくことが課題と考えます。



辻川河川レンジャーから防災の考え方(活動趣旨説明)



防災について(淀川消防署長草部氏)



防災と防護のお話(市民協働課西谷氏)



辻川河川レンジャーから淀川区全域の地形と淀川流域の説明・災害について

6. 十三中学校防災スクール体験学習

・平成24年11月5日(月)

活動名	わがまち「防災スクール」Part2		
活動分野	防災		
氏名	辻川松子（福島出張所管内河川レンジャー）		
活動日時	平成24年11月5日(月) 13:15～15:10		
実施場所	十三中学校～淀川河川公園西中島地区		
			
参加人数	参加総数	186名	
	参加者	168名	十三中学校教師8名、1年生160名
	水防事務組合職員	2名	淀川右岸
	大阪市職員	8名	淀川消防署
	淀川区職員	7名	市民協働課
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	13:05	スタッフミーティング	
	13:15	開始、レンジャーから活動の主旨と注意点について	
	13:50	水防団と土のうづくり体験	
	14:05	可搬式ポンプホース取り扱い訓練	
	14:20	心肺蘇生トレーニング	
	14:25	エンジン始動訓練	
	14:40	放水訓練	
	15:10	学校に帰着して解散、終了	
配付資料	水防団告知パンフレット、ハンディメディカル(淀川右岸水防組合)、河川レンジャーNews		
関係機関からの支援内容	右岸水防事務組合より 物品の提供 淀川消防署より 署員の出動と指導 淀川区役所市民協働課安全対策セフティーよどがわより 職員の出動と生徒の安全指導 河川事務所 河川レンジャーNews		
河川レンジャーの活動内容	準備	関係諸機関との日程調整を含む企画書の提出と協力の依頼 実施場所の確認と事務所への連絡	
	当日	スケジュールのとおり	
	事後	意見のまとめ	
参加者からの意見	(参加者からの意見<原文のまま>) ・土を入れるときや運ぶのは重かったけど・ 最初はこんな役に立つのかなあと思っていたけど、話を聞くとちゃんと役に立つんやと思った。		

- ・土は以外と重かったです。ふだん何気なく踏んでいる土がこんなに重いなんて思っていませんでした。たかが土でかべなんか作ったところで・・・とっていましたが完全に土を見くびっていました。これなら水を防げると思いました。
- ・ポンプから水を出すだけとっていましたがとても大変でした。ポンプの延長というものをしました。とても力がある仕事があり「いつもこんなのをしている人は大変だな」と思いました。
- ・救命では人の命を救えるかもしれない方法を知れて良かったです。他にもいろいろためになることをおしえてくださいました。救命活動に参加して良かったです。

(今後の課題)

雨天時の事業有無についての判断は難しいと感じながら一時小雨が降る中で、全ての行程を無事実施いたしました。

子どもたちは楽しみながら学んでいるようで危機感はありませんが、多くの体験をとおして防災意識の向上に繋がればと思っています。



レンジャーから活動の主旨と注意点について



スコップで土入れ



心肺蘇生トレーニング



放水訓練

7. わがまち「防災スクール」活動

・平成24年11月9日(金)

活動名	わがまち「防災スクール」		
活動分野	防災		
氏名	辻川 松子 (福島出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成24年11月9日(金) 13:00~16:00		
実施場所	大阪市立新北野中学校 (大阪市淀川区新北野 2-13-37)		
参加人数	参加総数	265名	
	参加者	242名	教員12名 生徒230名
	スタッフ	1名	森野わがまちビジョン推進委員会委員
	淀川区役所	4名	淀川区役所市民協働課
	淀川消防署	9名	大阪市消防局 淀川消防署
	淀川河川事務所	8名	
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	13:00	集合・開始	
	13:30	体育館にて防災授業開始 レンジャーから ＝川と寄り添う暮らし＝もし 災害が起きた時 あなたはどうしますか！！ ・自分のまちと淀川について ・「自助・共助・公助」について	
	14:00	運動場にて防災体験授業開始 (水没ドア体験・水中歩行体験・救急救命体験)	
	15:35	体育館にて草部淀川消防署長より ＝災害について＝ 淀川区役所西谷防災担当から ＝防災について＝	
	16:00	終了	
配付資料	特になし		
関係機関からの支援内容	河川事務所	実施に伴う関係機関への連絡調整と施設の設置・設営 担当者の派遣	
	淀川消防署	草部淀川消防署署長の出前講座	
	淀川区役所	事業実施に伴う職員の配置	
河川レンジャーの活動内容	準備	学校・消防署・区役所・河川事務所との日程調整と企画書の提出 講座実行に伴う資料 (パワーポイント) の作成 協力者への呼びかけ 前日施設設置に係わる搬入・搬出の立あい	
	当日	出前講座講師 事業の運営と進行 実施に伴う車両の搬入・搬出の立会 事後の校庭整備	
	事後	アンケートの依頼 使用資料の整理 報告書の整理	
参加者からの意見	<p><原文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水没ドアの体験では、一人でドアを開けることが出来ず友達と二人がかりでやっと開いた。 ・楽しかったけど実際ではそんな簡単に開けられないだろうと思った。 ・長靴の中がびちょびちょになり冷たかった。 ・淀川が氾濫するなんて考えられないけれど、東日本の大震災などのことを思うと僕たちも人ごとではないと思います。 ・救命体験の人の運び方などは僕たちの中学生ぐらいになれば、大人の人と同じように活躍できる人間になる必要がある。 ・あんな大がかりな設備をセットするには多くの人たちの協力や準備があって出来ることだ。ビデオを観たら、話を聞くだけでなく実際に体験ができるのがとても良かった。 ・消防署の方の話しが印象的でした。自分のことは自分で守る「自助」や「共助」が中学生として地域に役立つようになればと感じた。 ・長靴のサイズが小さく順番を待つのが寒かった。長靴の中もびちょびちょでもう少し長靴の数やサイズを多くあれば良いと思います。 		



辻川河川レンジャーによる防災スクール授業



防災体験（水中歩行）



淀川消防署による救急救命授業



淀川消防署長による防災授業

8. 十三中学校防災スクールまとめ

・平成 24 年 11 月 12 日(月)

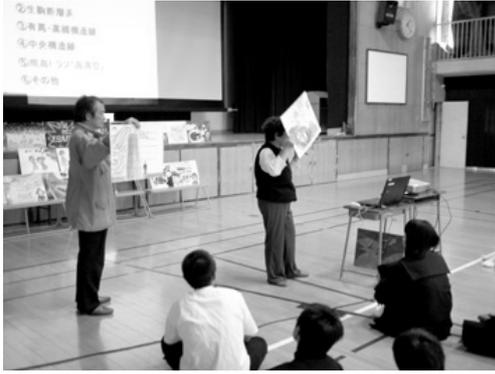
活動名	わがまち「防災スクール」Part2		
活動分野	防災		
氏名	辻川松子（福島出張所管内河川レンジャー）		
活動日時	平成 24 年 11 月 12 日(月) 13:15～13:40		
実施場所	十三中学校 大阪市淀川区十三東 5 丁目 1-27		
参加人数	参加総数	174 名	
	参加者	168 名	十三中学校校長・教師 8 名、1 年生 160 名
	スタッフ	1 名	西岡河川レンジャー
	大阪市職員	1 名	危機管理室
	淀川区職員	3 名	市民協働課
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	13:10	防災紙芝居の展示準備	
	13:15	開始、活動の主旨と経緯について説明	
	13:20	整然と並ぶ生徒たち	
	13:20	防災紙芝居の誌面紹介	
	13:30	辻川河川レンジャーによる内容説明	
	13:40	振り返りと河川レンジャーによる総評	
	13:40	終了	
配付資料	特になし		
関係機関からの支援内容	淀川区役所市民協働課防災担当職員出動 十三中学校教頭・教務主任 企画内容の伝達		
河川レンジャーの活動内容	準備	企画書提出 企画の内容検討 パワーポイントの作成	
	当日	スケジュールのとおり	
	事後	意見のまとめ	
参加者からの意見	<p>(生徒の意見<原文のまま>)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし地震や津波のときどこに避難したらいいかも知れた。 ・〇×クイズでもいろいろな言葉が出てきたので難しかったけどとても面白かった。 ・いりいりと聞いたなかで「大変だ」ということはまずわかった。本当に災害があってもおちついて教えてもらったことを実際にできたらいいなと思います。 ・話を聞いていたけどよくわからなかった。 <p>(今後の課題)</p> <p>アンケートの中に「わからなかった」と書き記している生徒の声があります。全ての生徒にわかるように話すことは大変難しいことですが、自己の責任として重く受け止め次に繋げたいと考えます。</p>		



防災紙芝居の展示準備



活動の主旨と経緯について説明



辻川河川レンジャーによる紙芝居内容説明



振り返りと辻川河川レンジャーによる総評

○池宮河川レンジャー活動報告（下半期）

9. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

9.1 活動テーマと活動分野

福島出張所管内を活動エリアとする池宮河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、7つの活動を計画しました。

活動テーマ

淀川の自然を地域住民に伝え、河川環境の改善を通して、治水、利水、環境、防災を共に学び、親しみのある「いい川」づくりを協働して進めます。

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川の持つ市民生活への恵みを啓発する活動	「淀川の自然・環境と生活用水のかかわり」を学ぶ	淀川が持つ自然環境が流域に与える恵みの大きさを伝えるため、地域の人たちを川へ誘導し川に関わる機会の増加と水辺環境維持を通して、「いい川」づくりへつなげます。
日常的な河川管理についての理解・啓発 「Ⅰ」	「淀川を生かし・活かされる施設」を学ぶ	河川の維持管理と淀川の水利用の在り方を勉強し環境に優しい河川の利用法を啓発し、「いい川」淀川を流域住民が安らぎの場として利用できる活動につなげます。
河川の適正な利用の推進を図る活動 「Ⅰ」	「十三干潟での生物多様性と自然環境」を学ぶ	小学生の子供たちと地域の人達を対象に十三干潟での自然観察と遊びを通じて河川利用啓発を行い、淀川から生物多様性を学び、安全で楽しく遊べる「いい川」淀川を体験する。
河川の適正な利用の推進を図る活動 「Ⅱ」	「淀川の生物多様性と水辺の生きもの」の学習	地域の子供・父母達を対象に「淀川の生物多様性と水辺の生きもの」の観察と遊び（工作）を行い安全で楽しい河川利用啓発を行う。
淀川の歴史・文化を啓発する活動	「淀川の歴史」「災害に強い街づくり」を学ぶ	地域住民の方々に淀川の歴史を解説し、河川の良好な環境と安全の維持には淀川流域に暮らす住民と河川管理者との協働活動の必要性を伝える。
日常的な河川管理についての理解・啓発 「Ⅱ」	「淀川を生かし・活かされる施設」を学ぶ	河川の維持管理と淀川の水利用の在り方を勉強し環境に優しい河川の利用法を啓発し、「いい川」淀川を流域住民が安らぎの場として利用できる活動につなげる。
河川の環境保全活動	河川環境保全についての理解・啓発・住民参加の促進	河川美化活動から河川に対する関心を高め、環境保全の大切さを促す。

10. 淀川の魚展示

・平成 24 年 10 月 21 日(日)

活動名	淀川の魚展示 第 11 回よどがわ河川敷フェスティバル		
活動分野	自然観察		
氏名	池宮 實 (福島出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成 24 年 10 月 21 日(日) 9:00~16:00		
実施場所	淀川河川公園西中島地区(河川レンジャーブース環境エリア No. 20)		
			
参加人数	参加総数	731 名	
	一般参加者	726 名	大人 375 名、子ども 351 名
	スタッフ	3 名	大東氏、淀川水遊館 2 名
	連携団体関係者	1 名	美津島中学 1 年ボランティア(主催団体よりの派遣)
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	9:00	河川レンジャーブース設営準備	
	9:40	展示水槽、淡水魚、淡水魚、外来種パネルの設営	
	11:00	フェスティバル開会・展示開始、河川レンジャーによる淡水魚、外来魚、生物多様性などの解説	
	15:00	ブース展示撤収開始	
	16:00	撤収完了	
配付資料	淀川の淡水魚、汽水域の生きもののオリジナルパネル、河川レンジャーNews、大阪府の淡水魚(大阪府水生生物センター下敷き・ポスター)		
関係機関からの支援内容	フェスティバル主催者 展示スペース(テント、机、椅子、発電機) 展示コーナー設営ボランティア派遣 水生生物センター 大型水槽設備一式 淀川の淡水魚 11 種 コイ・ゲンゴロウブナ・ギンブナ・タモロコ・モツゴ・オイカワ カネヒラ・ヒガイ・スジエビ・沼エビ 藻類 2 種 ホザキノフサモ・ネジレモ 淀川の淡水魚ポスター、下敷き 淀川水遊館 小型水槽一式 魚類 2 種 うなぎ・メダカ 植物工作材料一式 機材搬入・展示コーナー設営の援助		
河川レンジャーの活動内容	準備	実施計画の立案と調整 実施日・時間、実施場所、実施内容 関係機関との調整「大阪市淀川区役所」 会場設営機材の確認 使用機器の確認	
	当日	展示水槽の設営・魚類の搬入・展示	

		ブース内のパネル・看板等の装飾 活動の実施 参加者との交流
	事後	意見・感想の取りまとめ
参加者からの意見		<p>淀川にこんなに多くの魚がいるとは思わなかった。 魚類の多さに改めて淀川の素晴らしさを感じた。 淀川にウナギがいるとは驚きです。 子供に生きた魚を見せることができてありがとう。 きれいな川を守りましょう。 (今後の課題)</p> <p>屋外での大型水槽による展示は初めてのことで当初は準備にとまどいが有りましたが、関係団体の協力が得られて、設営・展示に関してはスムーズに実施出来ました。</p> <p>淀川の淡水魚、生き物についての知識、情報に関して未知の事がまだ多く有り、今後の活動のため知識、情報の入手に努める。</p>



河川レンジャーブースの全景



水槽の準備



河川レンジャーによる来場者への説明



ヨシでつくるバツタをスタッフから指導

11. 片江小学校イタセンパラ講義

・平成24年11月6日(火)

活動名	第3回小学校出前授業 特別天然記念物「イタセンパラ」と「淀川と淀川の淡水魚」を知ろう		
活動分野	自然観察		
氏名	池宮 實 (福島出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成24年11月6日(火) 10:40~12:25		
実施場所	大阪市立片江小学校 大阪市東成区大今里南2丁目13-2		
参加人数	参加総数	95名	
	学校参加者	91名	片江小学校 児童5年生84名 校長・教師6名、校務員1名
	講師	1名	(地独)環境農林水産総合研究所 大阪府立水生生物センター山本義彦研究員
	スタッフ	1名	淀川水遊館
	連携団体関係者	1名	大阪府立水生生物センター上原一彦主幹研究員
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	9:00	開会前の打合せ	
	9:15	イタセンパラの水槽準備、設営	
	10:40	開始、レンジャーから講師の紹介と講座スケジュールの説明	
	10:45	河川レンジャーによる「淀川の水と環境・淀川に生息する魚類と生物多様性」について	
	11:25	山本研究員による「淀川におけるイタセンパラの生息環境の変遷・イタセンパラの生活史」について	
	12:00	講師と質疑応答、児童による水槽のイタセンパラ観察	
	12:05	モツゴ・フナ・メダカの観察	
	12:20	児童のアンケート記入	
	12:25	終了	
配付資料	大阪府に生息する魚類のポスター 淀川の淡水魚の下敷き 水生生物センターのパンフレット すこやか夢ちゃん通信第11号 児童へのアンケート用紙		
関係機関からの支援内容	(地独)環境農林水産総合研究所大阪府立水生生物センター： イタセンパラ・淡水魚の貸し出し、講師の派遣 淀川水遊館：スタッフ派遣		
河川レンジャーの活動内容	準備	1. 実施計画の立案 実施日、実施内容の検討、現地下見 2. 関係機関との調整 3. 学校・協力者との打ち合わせ 実施内容の案内と周知、参加人数の確認 4. 使用備品(水槽等)持込淡水魚の手配・依頼 5. 学習用スライドの作成	
	当日	・参加児童への注意事項の徹底 ・「イタセンパラ」の水槽準備(水生生物センター)、イタセンパラと観察用淡水魚のセット ・河川レンジャーによるスライド映像を使用した「淀川の水と環境・淀川に生息する魚類と生物多様性」についての学習の実施 ・山本研究員によるスライド映像を使用した「淀川におけるイタセンパラの生息環境の変遷・イタセンパラの生活史」についての学習の実施 ・講師と質疑応答、児童による水槽のイタセンパラ観察、モツゴ・フナ・メダカの観察 ・児童のアンケート記入	
	事後	・学校関係者との交流	

	・意見・感想の聴取・とりまとめ
参加者からの意見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 淀川のことをよくわかりました。生きた魚もたくさん見られてありがとうございました。 2. イタセンパラをたくさん持ってきてくれて、近くで見学ができてうれしかった。 3. イタセンパラがすごくきれいでびっくりしました・ 4. いろんな魚の話が聞けて良かったです。 5. 大切な魚を持ってきてくださってありがとうございました。淀川と魚のことはあまり知らなかったなので、すごくべんきょうになりました。 6. イタセンパラや淀川に住む生き物についてよくわかった。 <p>(今後の課題) 実施のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川の話 ・特別天然記念物イタセンパラの勉強 ・汽水域に住むさかなの話 ・生きた淡水魚の観察 <p>22年(試行)・23年・24年と3回目の出前授業の実施となりました。開催した小学校及び学年は違いますが「イタセンパラ」の認知度が少しずつ上がってきているように感じます。</p> <p>今後も継続して実施できる取り組みにしたいと考えています。淀川の実環境保全・生物多様性を流域の住民・子供たちに伝え、活動を通して淀川における特別天然記念物「イタセンパラ」の保全と野生復帰への取り組みに協力していきたい。</p>



講師による
イタセンパラの生活史講義



水槽のイタセンパラ観察



アンケート記入



フナ・メダカ・モツゴの観察

12. 淀川探訪ウォーキング

・平成 24 年 11 月 27 日(火)

活動名	知ってるようで知らない淀川「淀川の自然環境と生活用水のかかわり」		
活動分野	水利用等		
氏名	池宮 實 (福島出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成 24 年 11 月 27 日(火) 8:30~13:00		
実施場所	淀川区役所～十三大橋～河川敷～淀川大橋～下水道科学館(大阪市此花区高見 1 丁目 2 番 53 号)		
参加人数	参加総数	51 名	
	一般参加者	40 名	大人 40 名
	スタッフ	4 名	淀川水遊館
	淀川区職員	6 名	淀川区長ほかすこやか夢ちゃんプロジェクトスタッフ
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	8:30	スタッフ集合、受付	
	9:00	開会式開始	
	9:05	レンジャーから活動の主旨について説明	
	9:10	すこやか夢ちゃん体操、出発、淀川歴史の概説	
	11:15	下水道科学館到着	
	11:20	ミーティングルームにて館内の説明を受ける	
	12:10	館内施設の見学	
	12:30	終了	
配付資料	1) 探訪ウォークルート写真付きマップ 2) 下水道科学館パンフ 3) 下水道のスゴイ力知ってるパンフ 4) 2011 大阪市の下水道リーフレット		
関係機関からの支援内容	1) 大阪市淀川区役所保健福祉課 ・淀川区「区だより」にて広報 ・参加者の募集 2) 淀川区役所保健福祉課 ・ストレッチ体操の実施 3) 福島出張所 ・河川レンジャーのぼり ・携帯マイク		

河川レンジャーの活動内容	準備	1) 実施計画の立案 2) 実施日、実施内容の調整 3) コースの下見、時間計測 4) 募集チラシ、コース解説資料の作成 5) アンケートの作成 6) 使用備品の手配 7) 協力者との打合せ 実施内容の周知、参加人数の確認
	当日	8) 活動実施 すこやか夢ちゃん体操、淀川の概略、堤防による洪水防御対策、十三の渡し、十三大橋の歴史背景、常夜灯、高麗橋起点の中国街道の歴史、淀川大橋、国道2号淀川陸閘、下水道科学館館内施設
	事後	活動のまとめ
参加者からの意見		1. わかりやすい説明で淀川と地域のかかわりがよく理解できました。川の話、橋の話を地域の歴史を交えて説明していただき、素晴らしいウォークでした。 2. 下水道科学館は知りませんでした。淀川の近くには色々な施設があるのが分かりました。前回の柴島浄水場へのウォークにも参加しました。次のウォークが楽しみです。 3. 川の説明を聞きながら楽しく歩いてよかった、次も参加しますのでよろしくお願いします。 4. 渡り鳥が多くみられて淀川の自然を改めて感じました。川の説明がわかりやすく、防災に関心があるので堤防と淀川陸閘の説明が聞けて大変良かった。 (今後の課題) 1. 区内全域より多くの方に参加していただけた。 2. 協力者(区役所・地域の団体)がよく動いて下さり大変助かりました。 3. 淀川探訪ウォークも継続して実施することで淀川の理解者を多く増やすことができていると感じる、リピーターが増え、今後の活動でも多くの方が参加しやすい内容と募集を心掛ける。 4. 地域における淀川の理解者を増やし、淀川を「よい川」にするため、日常的に協力者(区役所・地域の団体)とのコミュニケーションをとる必要を改めて感じています。 5. 河川レンジャーが淀川と地域への思いを語り、参加者と川に対する色々な意見交換をしながら「よい川づくり」と「地域防災」のための協力者を増やしていくことができたらと考えます。



堤防による洪水防御対策について



十三大橋南詰・常夜灯、街道の説明



淀川大橋（国道 2 号）淀川陸閘の説明



下水道科学館館内説明

○西岡河川レンジャー活動報告（下半期）

13. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

13.1 活動テーマと活動分野

福島出張所管内を活動エリアとする西岡河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、2つの活動を計画しました。

活動テーマ

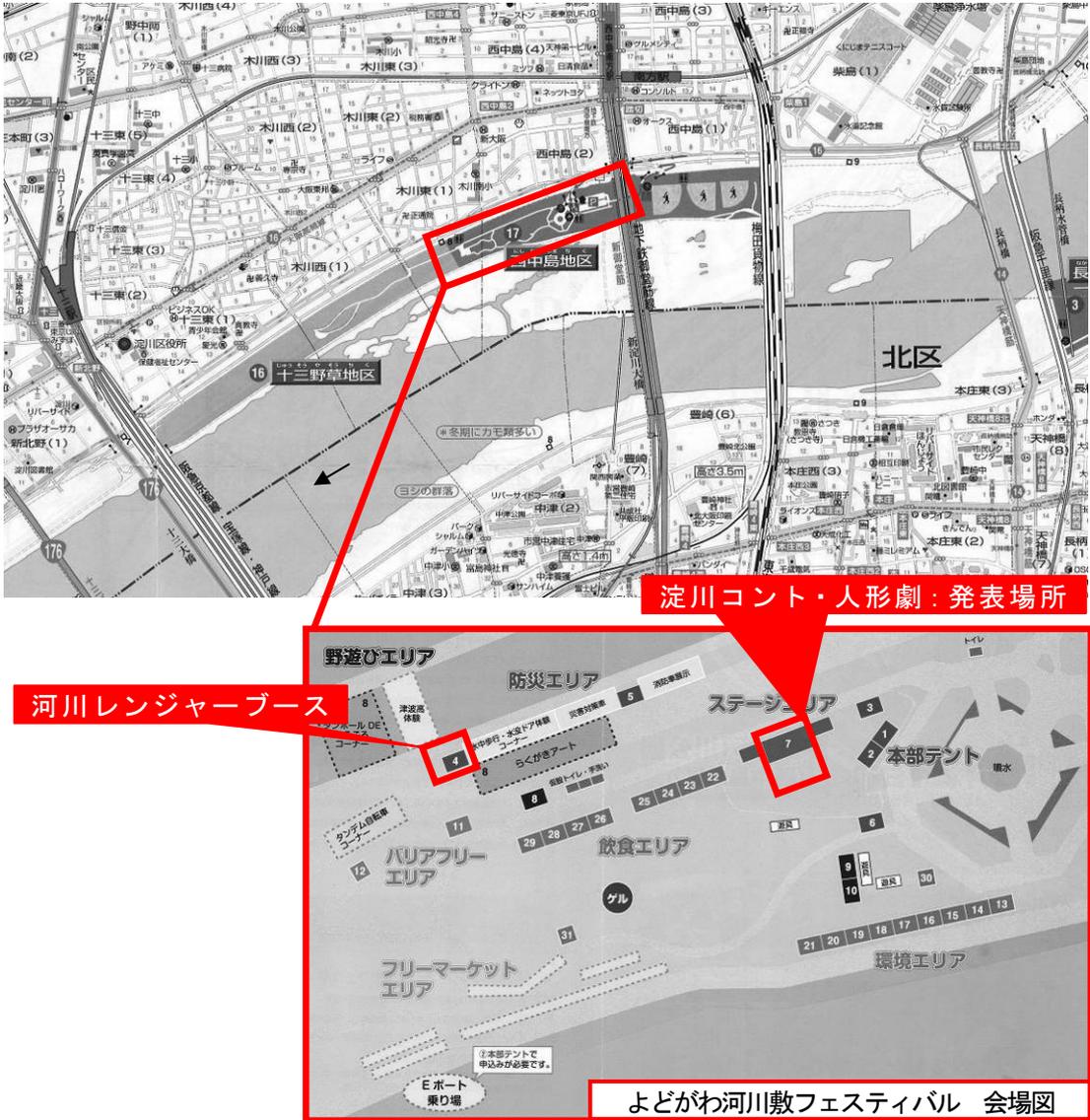
1. 水道記念館見学を通じて地域の子供たちに水の恵みの学習
2. 中島大水道治水を通じて防災意識の啓発

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川の環境保全を図る活動	大阪市水道局 水道記念館見学
活動地域への啓発活動	中島大水道治水の啓発（人形劇）

14. 淀川河川敷フェスティバル

・平成 24 年 10 月 21 日(日)

活動名	中島大水道の人形劇とコント淀川さん		
活動分野	環境保全		
氏名	西岡 和昭 (福島出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成 24 年 10 月 21 日(日) 11:00~15:00		
実施場所			
参加人数	参加総数	333 名	
	参加者	約 290 名	河川レンジャーブース：約 100 名 淀川コント：70 名 人形劇：120 名
	スタッフ	40 名	河川レンジャーブース／生涯学習推進員 12 名 淀川コント／2 名 人形劇／木川南小学校生涯学習ルーム：26 名
	淀川河川事務所	2 名	
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	11:00	開始	
	11:40~12:00	河川レンジャーブース：生き物の切り絵体験による環境保全の啓発	
	13:00~13:30	淀川コント：淀川水系の特徴と河川環境保全の重要性を発信 人形劇：中島大水道の歴史を発信	

	15:00	終了
配付資料		特になし
関係機関からの支援内容		テント、机、椅子、パネル、音響機器、レンジャーのぼり、
河川レンジャーの活動内容	準備	淀川河川の魚を紹介するための作品作り イタセンパラのホルダー作り 巨大カマキリの制作 中島大水道の人形劇練習 コント淀川さんの練習打合せ
	当日	8 ; 30 巨大カマキリ設営。9 ; 30 レンジャーブース準備 11 ; 00 開始、ブース内での切り絵、環境保全活動（イタセンパラ）のホルダープレゼントとイタセンパラの切り絵ハガキの体験。 13 ; 00 人形劇、14 ; 00 コント淀川さん講演、その後淀川さんのサイン会を行う。 16 ; 00 終了、後片付け撤収。
	事後	河川レンジャー協力者と反省会。
参加者からの意見		巨大カマキリの評価を得る。 生涯学習の河川に住む昆虫切り絵でも多数の参加がありましたとの報告が有りました。特にカマキリが人気だったとの事。 人形劇は治水の歴史を捉えたものであり、評価を得ました。 コント淀川さんは、初めての取り組みでしたが、これも評価を得ました。 ブース内での切り絵ハガキや河川の魚切り絵展示など、予定していた数（100枚）を大幅に超える参加があり、追加100枚致しました。



生き物の切り絵体験(河川レンジャーブース)



西岡河川レンジャー作成の巨大カマキリ



西岡河川レンジャーによる淀川コントのプロデュース



人形劇「中島大水道」と観客

15. 野中小学校切り絵塾出前事業

・平成24年11月10日(土)

活動名	切り絵の世界「淀川の生きもの編」		
活動分野	啓発その他		
氏名	西岡和昭（福島出張所管内河川レンジャー）		
活動日時	平成24年11月10日(土) 10:00～12:00		
実施場所	大阪市立野中小学校 大阪市淀川区野中北1丁目11-26		
参加人数	参加総数	21名	
	一般参加者	19名	大人4名、子ども15名
	連携団体関係者	1名	主催者：大阪市立野中小学校生涯ルーム運営委員会 辻川河川レンジャー
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	10:00	開始、西岡河川レンジャーから活動の主旨説明	
	10:15	切り絵の技術指導	
	10:25	辻川河川レンジャーから安全注意	
	10:40	西岡河川レンジャーとカマキリ作成	
	11:10	西岡河川レンジャーから指導	
	11:25	西岡河川レンジャー作品を鑑賞	
	11:50	参加者の感想	
	12:00	終了	
配付資料	告知パンフレット		
関係機関からの支援内容	辻川河川レンジャーの協力を得て野中小学校の利用許可を得る		
河川レンジャーの活動内容	準備	切り絵工作の材料準備	
	当日	切り絵工作により、河川敷に生息する生き物などを教える	
	事後	報告のまとめ	
参加者からの意見	特になし		



切り絵の技術指導



主催者委員長(辻川河川レンジャー)とカマキリ作成



西岡河川レンジャーから指導



参加者の感想

16. 治水人形劇と河川啓発コント

・平成 25 年 1 月 12 日(土)

活動名	人形劇「さいの木神社物語」河川環境啓発コント「淀川さん」公演		
活動分野	環境保全		
氏名	西岡和昭（福島出張所管内河川レンジャー）		
活動日時	平成 25 年 1 月 12 日(土) 14:00～15:00		
実施場所	大阪市立生涯学習センター 大阪市北区梅田 1 丁目 2-2 大阪駅前第二ビル 5F		
参加人数	参加総数	111 名	
	参加者	85 名	大人 57 名、子ども 28 名
	スタッフ	20 名	辻川河川レンジャー、木川南小学校生徒 11 名、父兄 5 名、 コントグループ(氏名明記)3 名
	大阪市職員	5 名	大阪市立生涯学習センター職員 5 名
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	12:20	事前打ち合わせと人形劇リハーサル	
	14:00	人形劇開始	
	14:30	人形劇終了、淀川コント開始	
	15:00	コント終了とレンジャー講評	
	15:05	片付け終了	
配付資料	河川レンジャーNews		
関係機関からの支援内容	総合生涯学習センターより舞台備品を借りる 総合生涯学習センターより参加者の交通費を出していただく		
河川レンジャーの活動内容	準備	昨年 12 月より総合生涯学習センターに人形などを展示する。 今年の 1 月 8, 9 日と放課後、木川南小学校で全体練習を行う。	
	当日	11 時に荷物搬入、同時に舞台設営に入る。 劇団員(チーム楠)合流、コント淀川さんチーム合流。 事前打ち合わせ 舞台発表前の最終練習 中島大水道 舞台発表 コント淀川さん演技	
	事後	終了と共にあと片付けと撤収	
参加者からの意見	音声をもう少し大きくしてほしいかった。 人形の操り方がうまくなった。 中島大水道のことを初めて知った。 コント淀川さんの最中には(そのとおりのやー)などと、歓声をいただいた。		



事前打ち合わせ



舞台全景



人形劇公演中のスタッフ



コント淀川の熱演

○三輪河川レンジャー活動報告（下半期）

17. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

17.1 活動テーマと活動分野

毛馬出張所管内を活動エリアとする三輪河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、3つの活動を計画しました。

活動テーマ

「暮らしの中の河川」を考える活動を通して、歴史、文化を学び、河川についての理解を深め、都市型の暮らしのなかから、川へのかかわりを模索します。

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川にかかわる歴史文化の普及活動 河川レンジャー事業の地域理解を深める 広報活動	暮らしの中の河川、川沿いあるき・歴史散歩 地域イベントでのパネル展示	身近に川を感じるところから、都市の暮らしと川とのかかわりを考える。
河川行政と地域住民とのコーディネートを図る活動	防災についての体験学習会、施設見学会、	防災の学習・体験を通して、防災意識を高め、施設見学を通して、河川を考え、河川行政への理解を深める。
河川の環境保全を図る活動	冬鳥観察会、干潟の生き物についての学習会	学習会・観察会を通し、淀川の環境について考える。

18. 冬鳥観察会

・平成25年1月25日(金)

活動名	冬鳥観察会		
活動分野	自然観察		
氏名	三輪栄子（毛馬出張所管内河川レンジャー）		
活動日時	平成25年1月25日(金) 12:30～14:15		
実施場所	阪神淀川駅～海老江干潟 		
参加人数	参加総数	7名	
	参加者	6名	大人6名
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	12:20	阪神淀川駅にて集合、12:30開始	
	12:35	阪高神戸線橋梁下流の水鳥観察	
	12:50	海老江干潟から淀川橋梁の水鳥観察	
	13:15	図鑑確認	
	13:45	参加者合流	
	13:50	干潟について三輪河川レンジャーの説明	
	14:15	終了、参加者解散	
配付資料	レンジャーnews No.22 No.23		
関係機関からの支援内容	淀川河川事務所 ホームページ等広報 生涯学習運営委員会 広報		
河川レンジャーの活動内容	準備	募集、スタッフ連絡調整	
	当日	引率	
	事後	スタッフと反省会 気温が急に下がると参加者のキャンセルがふえてしまう。	
参加者からの意見	駅から近く冬鳥が観察でき、また企画して欲しい かもの種類が観察会に来るたびにわかるようになった		



海老江干潟から淀川橋梁の水鳥観察



図鑑による種の同定



参加者合流



干潟について三輪河川レンジャーの説明

○崎谷河川レンジャー活動報告（下半期）

19. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

19.1 活動テーマと活動分野

毛馬出張所管内を活動エリアとする崎谷河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、6つの活動を計画しました。

活動テーマ

市民と川の豊かなふれあいを増す活動！

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
防災の推進を図る活動	○自主防災活動の活性化 毛馬出張所の施設を活用し、地域住民と水防勉強会。土嚢づくり体験	淀川下流域の住民を対象者とし河川管理施設の見学、水防体験などを通して河川管理状況や現状を理解してもらう。そして淀川を防災の観点で見つめ直し、家庭や地域でも日頃から水防の危機意識を考えるきっかけづくりに繋がります。
川の適正利用の推進を図る活動	○身近な淀川を、もっと知って！楽しもう 柴島干潟の自然観察会 (淀川大堰下流の河川敷～柴島干潟～水道記念館)	近づきたい印象をもつ淀川を資源にした街の活性化を呼掛ける。 淀川の水辺で、植物観察会などの体験から多様な生態系を学ぶ。暮らしや遊びに河川を取り込むことで淀川の適正利用の啓発を行う。
川づくり人づくりへの参画・支援する活動	○地域住民と大学の、川のスポーツによる交流を支援する (東淀川区民+神大漕艇部)	『地域住民と大学の、川のスポーツによる交流支援』を図ることを目的とする。
川の歴史・文化を普及啓発する活動	○淀川の歴史・文化を知ろう！ 川辺歩きで河川のあるべき姿を理解し、自然環境と親しもう	水辺歩きから河川のあるべき姿を理解してもらい、河川から楽しみや癒し効果を発見するなど暮らしに河川を取り込む生活意識の啓発を図る。
川の環境保全を図る活動	○河川美化の活動 菅原・豊里の河畔景を美しく！	清掃活動を、まちづくり活動の原点とも言える重要なテーマとして位置づけていき、川をフィールドとして活用している人達にも呼びかけ、美化活動の拡充を図り上下流域のエリアとも連携を図りながら、河川美化の啓発を促す。
啓発活動	○河川レンジャー情報発信などの広報活動 区民の祭典(北区カーニバル)へのブース出展で河川レンジャーの活動紹介。	河川レンジャーの事業計画が単なるイベントとならずに、市民と川の豊かなふれあいを増す活動の深耕に役立てる。機会ある度に、その場を最大限に活用した啓発PRに努める。

20. 森林(もり)の市ブース出展

・平成24年10月7日(日)

活動名	森林の市ブース出展		
活動分野	防災		
氏名	崎谷久義(毛馬出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成24年10月7日(日) 10:00~16:00		
実施場所	毛馬桜之宮公園・近畿中国森林管理署 大阪市北区天満橋 3-8-75		
参加人数	参加総数	42名	
	参加者	約40名	
	スタッフ	1名	井添氏
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	8:30	〈前日の午後にテント設置など基本設営済〉 会場設営準備	
	10:00	開会 崎谷河川レンジャーによる掲示説明(随時)	
	11:15	崎谷河川レンジャーによる「家庭でできる水害対策の話」	
	13:20	非常時備蓄物品の案内説明など	
	14:45	「家庭でできる水害対策の話」2回目	
	15:15	「土のうづくり演習」紹介	
	16:00	閉会	
	17:30	会場展示物片付け、設営テント撤収、催し振り返り	
配付資料	森林の市2012(チラシ:レンジャー作成)、水防テキストブック(平成13年近畿地方整備局作成)、自分の命を自分で守るために(24年度版 日本河川協会作成)、市民防災マニュアル、災害から身を守るために保存版、あなたは自宅に帰れますか?災害が発生し、家に帰れなくなったら・・・(チラシ:大阪市危機管理室)、河川レンジャーNews(No.12)、平成ワンドを見てみよう(チラシ:レンジャー作成)、第9回城北川フェスティバル(チラシ:地元区)		
関係機関からの支援内容	〈淀川河川事務所からの物品貸与〉 テント1張、長机、水防用具(スコップ・蓑・たこ槌・掛矢・木杭・トラロープ・ヘルメット・軍手)、土のう積み用材(土のう袋・土砂)、簡易水防用材(プランター・ブルーシート・毛布・古新聞など)、救急セット、淀川流域ポスター、淀川水害記録写真、水防に関わる啓発ポスター、河川レンジャーNews、レンジャー幟 〈大阪市北区役所からの物品貸与〉 救助用資機材(バール・ノコギリ・手斧・ジャッキ・投光器・リヤカー・布タンカー・救急セット) 備蓄物資(乾パン・アルファ米・水缶詰・日用品セット・毛布・簡易トイレ+消耗品セット・ラジオ・懐中電灯)、大阪市危機管理室発行 市民防災マニュアル、		
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 催しの企画立案 ・ 水都おおさか『森林の市』開催事務局(近畿中国森林管理局)への参加申し込み手続き、現地下見、打合せ ・ 大阪市北区役所市民協働課防災担当への防災関連物品の貸与申し込み手続き、打合せ ・ 毛馬出張所及び事務局への資材提供の依頼 ・ 防災資料の収集、協力者への呼びかけ 	
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場設営、事業の進行、撤収 ・ 崎谷河川レンジャーによる掲示説明(随時)、崎谷河川レンジャーによる「家庭でできる水害対策の話」、来場閲覧者に対する非常時備蓄物品の案内説明など、来場閲覧者に対する「土のうづくり演習」非常時用具(簡易トイレ・組立て式リヤカーなど)の取説や紹介 	
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ 	

参加者からの意見

参加者に記入して頂くアンケートを用意したが、空振りに終わった。他団体では、記入するとプレゼント物を用意している。僅かに書込み者が居たが、逆に貰える物は無いのかと聞かれる始末だった。

興味を持って展示物を見る。また、簡易な水防対策方や土のうづくりに関心を示す人が度々に訪れて来たことは良かった。普段から市が用意している災害用の備蓄物や救助用機材にも、質疑や活用方法など問われる場面が何度かあった。

組立てリヤカーの利便性や簡易トイレ使い方に、興味を持つ人が多かった。「普段に様々な場所で、この様な展示が行なわれたら良いと思う。」との意見も聞いた。以下の記帳があった。

- ・水害に対する心構えと防災対策をして行きたい。
- ・知らなかった知識を得られて有意義だった。
- ・森を大切にしようと思った。たいへん楽しめました。
- ・日頃からの準備が大事だと思った。

(今後の課題)

- ・多くの出展者(58団体)の中で注目と興味を持ってもらえる為に、工夫を凝らす必要性を痛切に感じた。---
- ・単なる啓発や実習の呼掛けでなく、楽しめるゲームやプレゼントする物などがあると多くの人が集りがしている。
- ・テントブース内に人を呼び込むことは難しい。流れる人を立ち止まらせる為の興味を引く力強い展示物が絶対に必要。
- ・親子の来場者が多いことが、当催しの一つの特徴。子どもの関心を得る内容で実施企画を立てる必要がある。
- ・河川レンジャーと言う活動を広く周知アピールして行くには、適切な催しと思うし手応えも感じた。河川環境管理財団も毎回参加されていて、連携を図った企画を考えてみるのも良いかも知れない。
- ・水防をテーマとする催しで説明や実習を行なう係り員は、平服では無く、防災に適した作業服を着たほうが良いなと思った。



会場設営準備



崎谷河川レンジャーによる家庭でできる水防対策の話



土のうと水防パネル展示



災害時用の備蓄物品の展示

21. 平成ワンド観察

・平成24年11月1日(木)・4日(日)

活動名	平成ワンドを見てみよう!		
活動分野	環境保全		
氏名	崎谷久義 (毛馬出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成24年11月1日(木)・4日(日) 13:30~16:00		
実施場所	豊里ヨシハラ群落地~平成ワンド~菅原城北大橋 		
参加人数	参加総数	29名	(2日間のべ人数)
	一般参加者	11名	大人2名・小人1名(1日) 大人8名(4日)
	スタッフ	1名 15名	仁枝河川レンジャーアドバイザー(4日) 地元愛護会のべ15名(1日・4日)
	河川レンジャー運営事務局	2名	(1日・4日)
スケジュール	[11月1日] 13:30 集合 13:45 スタッフミーティング、開始 13:55 崎谷河川レンジャー、スタッフによる外来種採取活動 15:20 ふり返り 15:30 閉会 [11月4日] 13:00 参加者受付 13:30 開会、開催の主旨説明 14:05 菅原城北大橋の橋上から、平成ワンドの成り立ちについて説明 14:40 崎谷河川レンジャーによる外来種(事前収集)のサンプル紹介 15:15 崎谷河川レンジャーによる平成ワンドで模擬収集と、散見する生きもの解説 16:00 閉会		
配付資料	平成ワンドを見てみよう!(チラシ:河川レンジャー作成)、河川レンジャー作成レジュメ、みんなの淀川を、みんなで守ろう・淀川のワンド(チラシ:河川事務所作成)、淀川水系に生息する魚の下敷き、河川レンジャーNEWS		
関係機関からの支援内容	〈淀川河川事務所からの物品貸与〉 ライフジャケット、ウエーダー、たも網、刺し網、バケツ、スローロープ、救急セット、魚の下敷き、河川レンジャーNews、レンジャー幟		
河川レンジャーの活動内容	準備	備品の取り揃え	
	当日	スケジュールのとおり	
	事後	まとめ	
参加者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 淀川の植物・樹木の生態や、鳥類の話しなどを知りたく参加した。 ・ 水辺にもっと近付けるような状態に成らないかと、何時も思っています。何とかしてください。 ・ 淀川の自然環境や魚類など今の様子を見て、河川レンジャーさんから説明や考えを聞きたいと思いました。 ・ 今回は移動が少なかったなので、皆が纏まって話が聞けたことがよかった。 		

- ・ この様な催しをこれからも続けてほしいです。
- ・ また参加します。川について色いろなことを知りたいです。
- ・ ジャンボタニシやブルーギルなどは食べられるのですか、ザリガニも食べたことが有ります。そんな催しも計画してみてください。
- ・ 外来生物の試食会、楽しみにしています。
- ・ 何時も誘い掛けいただき有難う。淀川に関する活動は出来るだけ参加して行きたいと思っていますので今後とも連絡ください。等がアンケートに記されていました。

(今後の課題)

川辺歩きの観察会を今後も続け、流域市民と環境改善に向けた活動(河川のゴミ収集や、ヨシハラの刈り込み作業など)に繋がって行くように努力して行きたい。

ワンドや溜りなど水辺に近付きやすく成るような、工夫を考えたい。



(11月1日) スタッフミーティング



崎谷河川レンジャーによる外来種採取



(11月4日) 崎谷河川レンジャーによる外来種のサンプル紹介



崎谷河川レンジャーによる平成ワンドの生きもの解説

○石山河川レンジャー活動報告（下半期）

22. 平成 24 年度 活動のテーマと目的

22.1 活動テーマと活動分野

毛馬出張所管内を活動エリアとする石山河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、3つの活動を計画しました。

活動テーマ

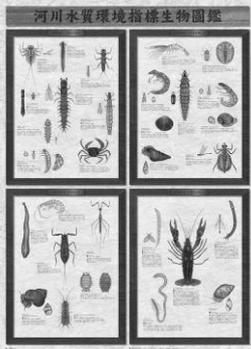
淀川水系の生物多様性に関する情報の収集と発信

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川の環境保全を図る活動 (河川環境保全の啓発・学習)	淀川大堰を知ろう！	淀川大堰・毛馬排水機場の施設案内、淀川大堰の魚道を上がるアユに焦点を当て、アユの生態を紹介し、命を支える淀川の水への理解を深める。
河川の環境保全を図る活動 (河川環境のモニタリング)	特定外来植物のお話	生態系に悪影響を及ぼす特定外来生物を知る。 淀川では魚の駆除は進んでいるが、植物に関しては情報が薄い状況を知る。
川の人材を育成する活動	指標生物講座	河川の水質環境を知る指標生物の基礎知識を伝え、団体の指導者等に対して、調査時のポイントを現場サイドからの生の声を伝え、川の健康を考えるきっかけを創る。

23. 指標生物講座

・平成 24 年 11 月 3 日(土)

活動名	指標生物講座		
活動分野	啓発その他		
氏名	石山郁慧（毛馬出張所管内河川レンジャー）		
活動日時	平成 24 年 11 月 3 日(土) 13:00~17:00		
実施場所	NPO法人nature works事務局 大阪市天神橋 2-5-18-402		
参加人数	参加総数	26 名	
	一般参加者	21 名	大人 14 名、子ども 7 名
	講師	1 名	小村氏
	スタッフ	3 名	NPO 人を自然に近づける川いい会
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	13:00	開会	
	13:10	石山河川レンジャーと講師による指標生物の解説	
	13:45	来場者による生物学習	
	13:45	来場者への説明	
	14:05	来場者による生物の絵描き	
	15:30	指標生物スライドショー	
	16:30	指標生物の捕獲方法の指導	
	17:00	閉会	
配付資料	<p>指標生物図鑑ポスターの配布</p> 		
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人nature works：会場提供、会場設営のサポート、MACパソコン貸出、スライドショーの作成、標本の貸出 ・人を自然に近づける川いい会：協力スタッフ、指標生物ポスター、大阪 only 湾パンフ提供 ・環境カウンセラー・きんき環境館等のメールによる告知 		
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・事業プランニング、会場担当者との打ち合わせ、講師依頼 ・広報ツールの準備および活動、資料づくり 	
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ・展示物のセッティング、展示物の片付け 	
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ 	
参加者からの意見	<p>・学生の自由研究に指標生物を指導することも視野に入れたい。来年度の相談にのってもらえないか。（住吉高校生物科・教諭）</p> <p>・本日は、【淀川河川レンジャー活動「指標生物講座」】に参加させて頂きまして、ありがとうございました。</p> <p>今日は、とても有意義な時間を過ごさせて頂いて、心より感謝しております。頂戴したポスターも、大切に飾らせて頂きます。本当に、ありがとうございました。また何かございましたら、どうぞよろしくお願ひいたします。（環境省 環境カウンセラー兵庫県 自然保護指導員 NACS-J自然観察指導員兵庫連絡会 代表）</p> <p>（レンジャーから）</p> <p>・水道記念館が閉鎖のため、講座形式ではなくワークショップ形式に変更。来年度の活動場所を今から探しておく必要がある。</p>		

・nature works から借りていたシャーレタイプの標本を子どもが落とし
てしまい破損してしまった。レンタルすべきかどうか、今後検討する。



石山河川レンジャーと講師による指標生物の解説



来場者への資料説明



来場者による生物の絵描き学習



展示物

○新里河川レンジャー 活動報告（下半期）

24.平成 24 年度 活動のテーマと目的

24.1 活動テーマと活動分野

毛馬出張所管内を活動エリアとする新里河川レンジャーは以下の活動テーマのもと、4つの活動を計画しました。

活動テーマ

1. 川で遊び・学び・つながる
2. 命の水の再生と川との共生

平成 24 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	活動目的
河川の環境保全と魅力を発見する活動	大川クリーン活動&生物観察&Eボート体験	水辺・川のクリーン活動や生物観察から、環境保全など啓発活動と、川の魅力の発見と川への親しみを感じて頂く。 Eボート体験からは、活動などを通して地域交流の促進を図り、新たなエコライフ型の流域文化の創生を目指します。
	川沿いの生物観察とクリーン活動	水辺・川のクリーン活動や生物観察は、環境保全など幅広い啓発活動と共に、新たな川の魅力の発見と川に親しみを感じてもらう活動につなげていきます。
	水辺ウォークと野鳥観察	新たな川の魅力の発見や親しみを感じてもらう活動につなげると共に、水辺の野鳥の情報収集を行い、環境保全など幅広い啓発活動につなげていきます。
川の魅力を発信する活動	鵜殿のヨシを利用したヨシ笛づくりの実演とヨシパネル展示	河川環境保全の活動やレンジャー活動をパネルで紹介し、環境保全の幅広い啓発活動につなげます。 また子どもたちを対象に、鵜殿のヨシを利用し葦笛の実演を行うなかで、ヨシの河川環境への影響や、河川再生活動の理解につなげます。

25. 地引網で生きもの調査

・平成 24 年 10 月 27 日(土)

活動名	大阪ふれあいの水辺 地引網で生物調査！		
活動分野	自然観察		
氏名	新里嘉孝（毛馬出張所管内河川レンジャー）		
活動日時	平成 24 年 10 月 27 日(土) 10:00～14:30		
実施場所	大阪ふれあいの水辺 一級河川大川（旧淀川） 源八橋下流左岸 毛馬桜之宮公園貯木場跡 （大阪市都島区中野町四丁目地内）		
参加人数	参加総数	189 名	
	一般参加者	170 名	(午前)大人 59 名、子ども 61 名 (午後)大人 18 名、子ども 32 名 ※おおかわ水辺クラブを含む
	講師	2 名	大阪府水生生物センター 2 名
	スタッフ	4 名	
	連携団体関係者	3 名	大阪府水生生物センター
	大阪府職員	5 名	西大阪治水事務所水都再生課ほか
	大阪市職員	4 名	環境局
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	9:00	スタッフ集合	
	9:35	スタッフミーティング	
	9:50	資料の展示	
	10:00	開始、公園内の清掃活動	
	10:25	参加者の受付開始	
	10:45	みんなで地引網(午後の部は 13:00 から)	
	11:15	講師と魚合わせ(出現種の確認)	
	11:25	みんなで水質のチェック(午後の部は 13:00 から)	
13:40	講師と魚合わせ(外来種の確認)		
14:30	終了と跡片付け～15:30 (解散)		
配付資料	大阪府水生生物センター冊子、河川レンジャーNews 大川の野鳥の写真		
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地引網活動用具一式（水生生物センター） ・生き物調査用具一式（水生生物センター） ・展示パネル（水生生物センター） ・水質検査用具一式（大阪市環境局） ・透視度計（大阪市環境局） ・受付テント一式（大阪府西大阪治水事務所） ・小型マイクなど（大阪府西大阪治水事務所） ・水槽・たも網（おお川水辺クラブ） ・受付関係（おお川水辺クラブ） ・野鳥写真カタログ（おお川水辺クラブ） ・カメラ撮影（おお川水辺クラブ） ・清掃活動用具一式（おお川水辺クラブ） 		
河川レンジャーの活動内容	準備	関係機関から支援資機材の準備	
	当日	スケジュールのとおり	
	事後	支援資機材の返却、報告のまとめ	
参加者からの意見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加者全体の集合写真を撮れるように誘導してほしかった。 2. 今度も是非参加したい。 3. 定期的な観察会(体験会)にしてほしい。 4. 安全確保を前提に、川に実際入る企画も考えてはどうか。 (今後の課題) <ol style="list-style-type: none"> 1. 野外での活動では、途中からの参加者の把握が難しい面があり、今回も多数の途中からの参加者が見受けられた。受付時に何らかの工夫が必要かもしれない。(今回はスタッフの監視で安全面は確保できた。) 		

2. 今回は晴天に恵まれたが、急な雨や雷には機敏な対応が必要となる。そのような事も想定すると、参加者を誘導するのに、緊急用の大きなハンドマイクは必要かと思われる。

3. 午前～午後と一日の活動となったので、スタッフ用の昼食のお弁当やお茶は用意する配慮が必要かと感じた。



参加者とスタッフの公園内の清掃開始



みんなで地引網



みんなで透視度と水質のチェック



講師と魚合わせ(出現種の確認)

26. 野鳥観察と水辺ウォーク

・平成25年2月23日(土)

活動名	野鳥観察と水辺ウォーク		
活動分野	自然観察		
氏名	新里嘉孝(毛馬出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成25年2月23日(土)9:30~12:00		
実施場所	帝国ホテル水上バス船着場~源八橋~大阪市水道発祥記念地碑~大阪市いこいの水辺 		
参加人数	参加総数	30名	
	参加者	20名	大人20名
	講師	5名	
	スタッフ	4名	
	連携団体関係者	3名	おお川水辺クラブ、日本野鳥の会大阪支部
	河川レンジャー運営事務局	1名	
スケジュール	9:25	帝国ホテル前広場にて集合	
	9:30	開始、レンジャーから活動の注意点	
	9:50	講師から出現鳥類の事前説明	
	10:15	観察しながら移動、源八橋の下にいる鳥類の観察	
	11:10	レンジャーから大阪市水道の発祥について説明	
	12:00	講師と鳥合わせ(出現種の確認)、終了	
配付資料	野鳥観察リスト、河川レンジャーNews		
関係機関からの支援内容	おお川水辺クラブより・ポール2本・双眼鏡2台・記録用カメラ1台。 日本野鳥の会大阪支部より・望遠鏡1台・記録用カメラ1台		
河川レンジャーの活動内容	準備	連携団体との連絡調整、野鳥観察講師との事前打合せ、現地下見、野鳥の写真の準備、当日の活動のしおり作成、野鳥観察リストの作成	
	当日	1 活動の進行 2 活動の記録 3 主要ポイントでの解説 ○大阪アメニティパークにおける河川水を利用した熱供給事業の解説。 ○大阪市水道発祥の記念碑前での、水道誕生の背景と現状などを解説。 ○「大阪ふれあいの水辺」の誕生と今後の課題などを解説。	
	事後	野鳥の写真整理と記録の確認 報告書の作成	
参加者からの意見	○大変有意義な観察会でした。また次回も参加するので広報をよろしくお願ひします。 ○「野鳥観察リスト」に、野鳥の名前と共に野鳥の写真がそれぞれに記載していれば野鳥観察の初心者にはありがたいと思います。		



新里河川レンジャーから活動の注意



源八橋の下にいる鳥類の観察



新里河川レンジャーから大阪市水道の発祥について説明



講師と鳥合わせ(出現種の確認)

○毛馬管内河川レンジャー連携活動報告

27. 大阪市北区 区民カーニバル

・平成 24 年 10 月 21 日(日)

活動名	大阪市北区 区民カーニバル		
活動分野	啓発その他		
氏名	三輪 栄子 崎谷 久義 新里 嘉孝 (毛馬出張所管内河川レンジャー)		
活動日時	平成 24 年 10 月 21 日(日) 9:00~17:50		
実施場所	大阪市北区 扇町公園		
参加人数	参加総数	348 名	
	参加者	343 名	大人 63 名、子ども 280 名
	スタッフ	4 名	おお川水辺クラブ 3 名、環境学習講座 1 名
	河川レンジャー運営事務局	1 名	
スケジュール	9:00	開始 ・区民カーニバル開会 ・ブース出展開始 ①淀川の自然材を使った「ヨシ笛づくり体験」 ②淀川の自然環境を学ぶ「サイコロ絵合わせ」 ③パネル展示	
	15:00	区民カーニバル閉会、片付け	
	16:00	移動・ミーティング (おお川水辺クラブ事務所)	
	17:50	終了	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・河川レンジャーニュース (No. 19 号、20 号、21 号、22 号) ・活動チラシ 		
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・(財)北区民カーニバル実行委員会より：ブース用テント、長テーブル、椅子、機材運搬用車駐車場 ・おお川水辺クラブ (葦及び葦笛作成機材一式、パネル展示用器具など文房具一式、「地引網で生物調査」ビラ作成、機材運搬用車。 ・淀川河川事務所 (掲示ポスター、河川レンジャー活動パネル他) ・「環境学習講座」「TEAM 魚っしょい！」より生き物パズル制作と提供 		
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ボランティアグループ打ち合わせ ・材料の準備、写真、コーティングシート など ・パズル制作 ・河川レンジャー活動の紹介資料収集 ・淀川の自然環境を表現する、子ども対象のオモチャづくり 	
	当日	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨシ笛作成の実演、 ・河川レンジャー活動紹介及びおお川水辺クラブの活動紹介パネル展示、 ・淀川の生き物サイコロパズル絵合わせ、 ・10 月 27 日開催の活動「地引網で生物調査」のビラ配布 ・河川レンジャーニュース配布 	
	事後	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルその他返却 河川事務所等 ・振り返り反省会 ・体験コーナーの道具 各団体へ返却 	
参加者からの意見	<p>(三輪河川レンジャー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年子供たちに「ヨシ笛の実演」をつうじて、ヨシが水の浄化に役立っている事等、啓発活動に感謝します。 ・子供なりに自然の産物を利用し笛が作れる事を学ぶのは、何れ役に立つものと思います。 ・子供たちは、パズルに挑戦しながら、淀川の鳥や魚について、少し関心を持ってくれたようです ・大人の方は、生き物パネルに興味をもたれ資料として配布してほしいと希望されていました <p>(崎谷河川レンジャー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当ブースに来る対象者を子供たちと限定した訳では無いが、結果はそうってしまった。 ・淀川的环境や河川レンジャー活動を広く紹介する目的が、テント外で子どもの 		

遊び机を配したことで全く広報ポスターを掲示した内部に人が誘導出来なかった。抛って、企画した主旨の啓発活動としては大いに反省面があった。

- ・主催者側準備テントが小さくて、且つその二分の一が河川レンジャーのスペースでは十分な活動表現が出来なかった。

(新里河川レンジャー)

- ・毎年子供たちに「ヨシ笛の実演」をつうじて、ヨシが水の浄化に役立っている事等、啓発活動に感謝します。
- ・子供なりに自然の産物を利用し笛が作れる事を学ぶのは、何れ役に立つものと思います

(今後の課題)

- ・ヨシ笛実演者の成育（増員）、ヨシ笛切断工具の準備、ヨシの選別
- ・次年度はこれまでのカーニバルが継続されるかは、現段階では未定との事（実行委員会）



出展ブース全景



淀川の自然材を使った「ヨシ笛づくり体験」



淀川の自然環境を学ぶ「サイコロ絵合わせ」



淀川管内河川レンジャーの活動紹介

○河川レンジャーおよびアドバイザー連携活動報告

28. 京都環境フェスティバル 2012 ・平成 24 年 12 月 8 日(土)～9 日(日)

活動名	京都環境フェスティバル 2012		
活動分野	河川美化啓発その他・広報		
氏名	京都府域出張所管内 福井河川レンジャー、山田河川レンジャー、西岡河川レンジャー、坂本河川レンジャーアドバイザー、田子河川レンジャーアドバイザー、仁枝河川レンジャーアドバイザー、		
活動日時	平成 24 年 12 月 8 日(土)～12 月 9 日(日) 10:00～16:00		
実施場所	京都パルスプラザ 京都市伏見区竹田鳥羽殿町 5		
参加人数	参加総数	318 名	
	参加者	300 名	
	淀川河川事務所	13 名	淀川河川事務所、各出張所
	河川レンジャー運営事務局	5 名	
スケジュール			
1 日目	9:00	スタッフ集合(京都パルスプラザ出展ブース)	
	10:00	開始、京都環境フェスタ開催	
	16:00	閉会・終了、片づけ	
	16:30	解散	
2 日目	9:30	スタッフ集合(京都パルスプラザ出展ブース)	
	10:00	開始、京都環境フェスタ開催	
	13:30	ワークショップ開始	
	14:00	ワークショップ終了	
	16:00	閉会・終了、片づけ	
	17:00	解散	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第 6 回桂川クリーン大作戦参加案内パンフレット ・河川レンジャー News 22 号 ・淀川資料館 企画展「回想 昭和二十八年の大水害」案内 ・西岡河川レンジャー活動「にんぎょうげき&ミニコント」案内 		
関係機関からの支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川河川事務所から第 6 回桂川クリーン大作戦のパンフレット印刷支援。 ・淀川河川事務所・・・準備物の搬入(水槽、魚、ポリタンク) ・河川レンジャー事務局・・・水槽セット一式 魚用の水準備 ・上流域流域センター：木津川・宇治川・桂川の生物写真の印刷とパウチ ・机、椅子、紙、ハサミの提供 		
河川レンジャーの活動内容	準備	<ul style="list-style-type: none"> ・桂川の紹介写真展示 ・パンフレットと作成打ち合わせ。 ・パンフレット作成資料収集。 ・印刷のための内容及び文書等のレイアウト及び校正。 ・配布先リスト作成等配布準備。 ・ポリタンク 4 (水槽用の水作り) 延長コード 敷布 バケツ・水槽一式 サカナ(7種類) スッポンを各バケツ、水槽に入れる魚説明カード ・京都府域出張所管内河川レンジャーの打合せ。 ・体験コーナー(工作)実施に向け、木津川・宇治川・桂川での小石集め ・ワークショップ実施に向けて、パワーポイントでスライド編集。 ・ブースの設置と、展示物の掲示。 ・河川に住む昆虫などの見本展示作品の用意。 	

	<p>当日</p>	<p>【パネル展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川百年対比写真 ・京都府域の河川レンジャー活動パネル ・侵略的外来種啓発パネル <p>【工作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺のいきもの切り絵体験 ・ストーンペイント <p>【魚展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府域三川に棲息する淡水魚等の水槽展示 <p>【ワークショップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山村河川レンジャー「木津川の河床低下について」（併催事業） ・山田河川レンジャー「水の性質のお話」 <p>(河川レンジャーの活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ブースへ参加呼びかけ ・環境フェスティバル展示団体並びに来場者への第6回桂川クリーン大作戦開催の宣伝活動。 ・パネル展示の説明、工作体験の指導 ・ワークショップ「水の不思議と木津川の水質変化」 ・展示物の撤去、ブースの片付け
	<p>事後</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回桂川クリーン大作戦の宣伝活動を継続して実施。 ・準備物の整理、魚、生き物をそれぞれの水槽に返す。 ・参加者がとても多くて体験者に迷惑をおかけしました。切り絵指導が出来る協力者を必要とします。(西岡河川レンジャー)
<p>参加者からの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・京都の川をゴミの無い美しく川にするため頑張ってください。 ・桂川クリーン大作戦は初めて知った、桂川の近くに住んでいるので参加したい ・参加については責任者と相談して参加の有無を考えたい。 ・今年も参加します。 ・ゴミのない綺麗な川を守るには、既に発生しているゴミは確かに拾って綺麗にしなければならぬが、ゴミの発生は元で断つ発想が大事では。そのためには生産者(会社)や販売者(商社、店舗等)や消費者(人)が自分達のごみは行政のゴミ出しルール従って処理し、違法投棄やポイ捨ては規制を強化して厳重に罰する事が求められる。従って違法投棄やポイ捨ては強く行政指導を行わない限りゴミは減少しないし無くならない。更には自己意識が生まれず平気で捨てることになる。美しい川はみんなの願いとは、地球上の生き物の命の水を守ることであり、ゴミの出ないモノ作り、ゴミのでない販売方法、ゴミのでない家庭を目指すことが大事であり、ゴミ処分には多額の税金が使われていることも事実である。桂川クリーン大作戦の志に期待したい。 ・桂川に流れ込んでいる川も桂川クリーン大作戦の日にきれいにすると桂川のゴミが少なくなるのではないですか。 ・スッポンの飼育方法について多くの方の質問があった。木津川にスッポンがいることを知らない人がほとんどで、木津川が砂川でスッポンにとって産卵しやすい浜が広がっているためスッポンが多く生息していることを説明すると驚いていた。 ・木津川に今でも多くの魚がいるのでなつかしいという人が多かった。 ・特にアンケートは取っていないが、体験コーナーの参加者からは「切り絵が楽しかった。」「ストーンペイントでは、素晴らしい作品が展示されている」という声が多かった。ワークショップ「水の不思議と木津川の水質変化」では、参加者が集まるのか不安があったが、予想外に多くの方が集まり、木津川の課題の一つ水質汚染について聞いて頂けた。(山田河川レンジャー) ・沢山の方から切り絵について絶賛するお言葉をいただきました。中でも90歳のお年寄りの方が「来年もまた来てやね」との一言は今でも心に残ります。また子供さん3人の参加者「ぼっぼクラブ」の方は1月12日の大阪総合生涯でのイベントに来てくれて交流が出来ました。(西岡河川レンジャー) 	



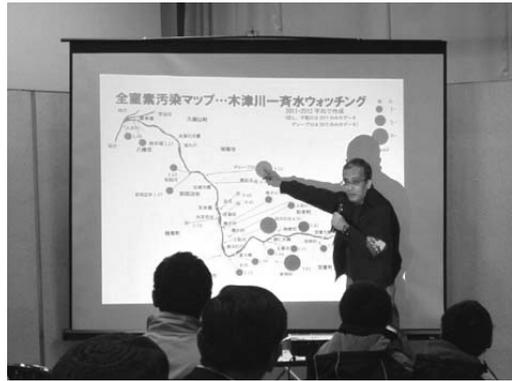
ストーンペイント



河川レンジャーによる切り絵体験



魚展示



山田河川レンジャーワークショップ